

◆ 団 体 だ よ り ◆

異業種交流会

フィリピンを視察

― 海外視察研修会を実施 ―

毎年恒例の海外視察研修に11月14日から17日、経済発展著しいフィリピンのマニラとセブ島へ1人で行ってきました。同国は若くして結婚や出産をし、平均寿命も65歳と比較的若い国です。平均月収は10万円くらいですが、大家族で働くため世帯収入は多く、フードショップでは爆買いが多くみられました。また外食のラーメンは一杯1000円くらい、ガソリンは150円/ℓと日本並み。仕事で30年前に工場進出した時は賃金が15分の1だったのが今は2分の1と、フィリピンがめざましい経済成長を遂げていることが分かりました。

初日は前野技研を視察。フィリピン カビテ州 輸出 入 優遇の工業団地で創業し、社長は2代目になります。製缶・溶接・機械加工な



前野技研にて

どを行い、顧客はほぼ日本企業で、人材育成と雇用の定着に知恵を絞っています。創業者の父からの教えである「損になる会社はお客様ではない、儲けさせていただけるとは、日本並みの品質で継続的取引を成立させています。」

3日目はセブ島を視察。観光都市として知られ、工業団地をはじめ空港・リゾート施設などがあり、日本のODAが入っています。

食事やカジノ、ブランドショップを併設したリゾートホテルでは、東京ドーム10個分の大きさのショッピングモール（映画館・ボウリング場など総店舗数1000以上）も視察。充実したホテルライフを満喫しました。かなり体力を消耗し、全身オイルマッサージをうけ、帰国に備えました。

大きなトラブルもなく、帰国しようとしたところ、まさか台風で欠航することになるうとは…。JT Bさんの匠の手腕で翌日には帰国でき、このおかげで検証できたのが、社長がいなくても会社が回る仕組みを形成できているか、ということでした。

（エイム研究所 矢野弘）

加古川環境保全研究会

カーボンニュートラルを目指して

― 2部会 合同研修会を開催 ―

12月6日（一財）省エネルギーセンター 近畿支部 エネルギー使用合理化専門員の前山二郎氏を講師にエネルギー部会・エコファクトリー部会合同研修会、改正省エネ法のポイントについてのセミナーを開催しました。



省エネ法改正について学ぶ

目標とする2050年カーボンニュートラルの具体的なイメージとその実現のために改正された省エネ法のポイントについて、エネルギー定義の見直し・非化石エネルギーへの転換・電気需要の最適化という3つを挙げて詳しく説明がありました。その後、定期報告書・中期計画書作成についてのポイントや、事業クラス分け評価制度について等の解説があり、最後に省エネ法定期報告情報の開示制度について、そのメリットや開示スケジュール、開示シートイメージなどの詳しい説明がありました。参加者は19名